事務事業調書	No	344	課 名	健康推進課	起 案 者	
平成23年度			係 名	成人保健係	決 裁 者	
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	4, 13, 18, 19, 20
事務事業名	通所型訪問型介護予防事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 1 高齢者福祉 2 在宅福祉 1 介護予防	予算科目(会計)		介護保険事業特別会計
		予算科目(款・項・目)		15-5-5
		総合計画以外の計画		高齢者保健福祉計画
		関連する総合計画の施策		
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）	法定受託事務	無	
根拠法令	有	介護保険法第115条の38		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業	
実施期間	開 始	平成18年度	経 過	5年目
	終 了		期 間	
公約・議会答弁	無			
陳情・市民要望	無			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	主に介護保険制度において特定高齢者となった人が、	～になる	生活機能が向上する
事務事業の内容	主に*特定高齢者を対象に要介護状態になることを防ぐことを通じて、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう通所型訪問型介護予防事業を実施し支援します。 ・通所型運動器機能向上(一部委託事業) …転ばぬ先の筋トレ教室・楽らく運動教室・楽しく運動！ゆるっと塾 ・通所型口腔機能向上…歯つらつ健口教室 ・通所型栄養改善…健康え一よう塾 ・訪問型…訪問健康指導			
事務事業進捗状況	平成２２年度特定高齢者終了者 ・転ばぬ先の筋トレ教室２６名・楽らく運動教室１４名・楽しく運動！ゆるっと塾９名 ・歯つらつ健口教室４７名 ・健康え一よう塾１名 ・訪問健康指導２５名			
改善・対策の履歴	・歯つらつ健口教室は、前年度に引き続き２ヶ月を単位として、年間６回開催し、参加しやすい開催を継続しました。 ・楽らく運動教室は、参加者が多い場合は開催予定の曜日に加え、別の曜日でも開催し、より多くの特定高齢者が参加できるようにしました。 ・民間委託の運動器の機能向上事業では、年度をまたいで開催することができないため、年度の終わりからの参加ができません。そのため年度の終わりからでも参加ができるよう、楽しく運動！ゆるっと塾を職員による実施とし３月から開催し、利用しやすい教室にしました。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		38,303	26,502	39,140	25,395	35,766	24,534	17,115
	財 源 計 a		27,008	9,936	22,348	7,474	17,694	6,462	17,115
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	6,729	2,458	5,563	1,868	4,416	1,615	4,279
		県 支 出 金	3,364	1,229	2,781	934	2,207	807	2,139
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	11,800	4,281	9,550	3,176	7,536	2,790	7,274
		一 般 財 源	5,115	1,968	4,454	1,496	3,535	1,250	3,423
	受 益 者 負 担 金		0	102	93	28	30	25	1
	職 員 人 件 費 d		11,295	16,566	16,792	17,921	18,072	18,072	0
	内 訳	従 事 職 員 数	1.50	2.20	2.23	2.38	2.40	2.40	0.00
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	楽らく運動教室	見込(単位)	20.00	60.00	60.00	0.00
				実績b(単位)	19.00	28.00	14.00	
		指標名(単位)	参加人数(人)	活動の総事業費f 実績	2,824	6,010	4,598	
				単位コストg=f÷b 実績	148.63	214.64	328.42	
	活動②	活動名（活動内容）	転ばぬ先の筋トレ教室	見込(単位)	30.00	30.00	30.00	0.00
				実績b(単位)	28.00	28.00	25.00	
		指標名(単位)	参加人数(人)	活動の総事業費f 実績	9,001	9,124	9,355	
				単位コストg=f÷b 実績	321.45	325.85	374.20	
	活動③	活動名（活動内容）	訪問健康指導	見込(単位)	230.00	50.00	60.00	0.00
				実績b(単位)	19.00	19.00	25.00	
		指標名(単位)	参加人数(人)	活動の総事業費f 実績	2,216	8,475	8,803	
				単位コストg=f÷b 実績	116.61	446.05	352.12	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	事業実施前後での生活状況調査における生活機能の上昇率(%)	見込(単位)	80.00	80.00	80.00	0.00
			実績(単位)	71.10	72.20	87.50	
			達成状況	未達成	未達成	達成	
		目標成果指標値	80.00	目標達成年度	平成26年度		
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		特定高齢者の事業参加後の改善率(%)	見込(単位)	75.00	75.00	75.00	0.00
			実績(単位)	78.60	78.00	84.20	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	75.00	目標達成年度	平成26年度		

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	・調査以外の内容（笑顔が多くなった、元気になった、意欲がでてきた、ふらつきがすくなくなったなど）の改善がみられました。事業は約3か月で終了するが、参加者同士が誘い合って継続して運動などを実施している人もみられます。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	・活動①は利用者一人当たりの単価契約のため、利用者増に伴い事業費増となるが職員人件費への影響は少ないものです。 ・活動③は家庭訪問による個別対応であるため、人数が増えると人件費はそれに比例して増加します。
	成果1，2	成果１については、聞き取りから、自己記入方式に変更しました。事前の認識と現状との差が、事後には少なくなる事が影響していると思われます。 成果２に関しては、事業を開始した１８年度より対象となる教室が多くなりましたので、成果指標の見直しが必要です。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	社会福祉協議会、介護保険課と連携して長期展望を持って、より多くの特定高齢者が参加できるよう開催時期や内容などを充実させていきたいと思います。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	国の要綱に沿った事業であるため、誰でも参加できるという事業ではありませんが、より多くの特定高齢者が参加できるよう開催時期や内容などをより充実させていきます。